

10/16 成田発

南米、先は長いです。

LA 経由で 10 時間弱と 8 時間半のフライトです。

しばし日本のビールは飲めないなのでエビスで飲み収め。

AA, サービス良いとは思っていないけど・・・

アルコールは有料、機内食は美味しくない・・・

寝るしかありません。

LA トランジット。荷物を一度ピックアップしないとイケないらしいです。

今回は機内持込したのでその手間私はないのだけれど・・・

しかも、入国手続きもしないとイケない。

面倒ですね・・・

10 年以上ぶりにアメリカに立ち寄りました。

4 時間の待ち時間を経て乗り継ぎ。

リマへのフライトなのでラテンな人たちも増えています。

気分も盛り上がる。

搭乗待ち、スペイン語会話集を読んでいたら隣のペルー人が教えてくれました。

つかの間スペイン語講座。今後の旅で役立ちますように・・・

深夜、リマにやっと到着。

時差もあるのでどれだけかかっているのかさっぱり分からず。

とりあえずはベッドで身体を伸ばして眠れます。

10/17 リマ着

新市街とよばれているミラフローレスのオスタル。

前夜遅くにチェックインだから朝はのんびり。

歩いて海辺へお散歩に行く。

車は一杯、大きなショッピングモールなんかもあって都会だわ。

明日のクスコ移動のための滞在にてのんびり過ごす。

午後に、友達の紹介で現地在住の方にお会いする。

待ち合わせ場所は、オスタルからは少し離れたショッピングモール。

リマは危ないから気をつけなさいね！と子どものように諭されました。

オスタルでも、「あなたにはセーフティーなタクシーを呼んだわ。

お友達が見えてからタクシーから降りるのよ」と親切なセニョーラ。

無事にお会いできショッピングモールを散策。

リマは海沿いなので、食材が豊富です。魚はたくさんあるし、野菜も安くて種類も豊富。

見ているだけで楽しいです。

そして、酒コーナーへ！

明日は高地へ移動なので高山病対策でアルコールは控える。

でもでも、ピスコを試飲、試飲！！

美味しい。しかし試飲でやめておきます・・・

代わりといっはなんですが、リマのお勧め料理セビツチェを堪能！

お魚、美味しい！！

10/18 クスコ経由オリヤンタイタンボへ

今回の目的のひとつでもあるマチュピチュへの移動開始。

クスコへのフライト1時間。

クスコは標高 3399m。富士山にも登ったことがない私、高山病が心配。

クスコをスルーして聖なる谷と呼ばれている町のひとつオリヤンタイタンボへ移動。

オリヤンタイタンボはクスコより標高が低いので、高山病対策。

クスコからは車で移動。リマとは全く違う町並み。「赤い」印象です。

ドライバーさんと(名前忘れてしまった・・・)、怪しいスペイン語を交わしながら

楽しいドライブ。

昼過ぎに到着。お花が沢山咲き乱れたお庭のあるお宿です。ステキです。

ひとりなのになぜかベッドが3つもあるし。もったいない・・・

そしてお腹が空いている私・・・

ご飯を食べるべく、遺跡散策も兼ねて歩き出す。

が、思い切り道を間違え(今思えば間違え様のない道なのに・・・)すぐに食にありつけず・・・

道端に売っている串焼き風に吸い寄せられ思わずつまみ食い。1.5 ソーレス(45 円)安い！

その後、ローカル人にまぎれてローカル食を食す。2 ソーレス(60 円)これまた安い！！

気を取り直し遺跡散策。ガイドつきのグループの後をたまに歩いてなんとなしに

説明を聞く(この後、よくやるパターン・笑)

フムフム、なるほどね～。が、急斜面で息があがりそう。

夕食。今の所体調変化なし、大丈夫なのではないか?? 悪魔のささやき聞こえる。

ビールを頼む。ビールはスペイン語でセルベッサ。これだけは直ぐに覚えた私です。

美味しい！！ビールにチキンが合いました。

10/19 マチュピチュへ

マチュピチュへ出発。クスコからの列車もあるのだけれど、私は宿泊したオリヤンタイタンボから乗ります。

一番安いクラス・バックパッカーで行く予定が手配の手違いでピスタドームにランクアップ。ラッキー。こちらは軽食つき。ウフフ。

世界の車窓からよろしく、しばし列車の旅です。

マチュピチュへの麓の街アグアスカリエンテスに到着。荷物を宿に置き、マチュピチュまでバスに乗って 30 分ハイラムビンガムロードをくねくね上がります。(ハイラム・ビンガムさんがマチュピチュを見つけたのでそれに由来しての名前です)

マチュピチュへ到着。

目の前にいつも写真でみていた風景が広がるというのは言葉もでませんね。

しばし呆然

こんな標高の高い所にどうやってこんな都市を作ったのだろう？と不思議でたまりません
広場にてリヤマ達を眺めながらまたまたボーっとする

ゆっくり散策して戻ります。

途中知り合った係りのおじさんと麓で会う約束をして・・・が、すっぽかされることに。
しょせん、そんなものよね(笑) 変りに、麓のガードマンと仲良しになりました。

夕食。またまたビールにピザ。下山途中に知り合った子と一緒に頂きます。

そして、明日はワイナピチュに登るため 12 時前に就寝です。

10/20 ワイナピチュ登山

4 時起床、4 時半バス停に並ぶ、5 時半バス出発、6 時マチュピチュ到着

なぜ、こんなに早起きかって？

ワイナピチュへは入山制限があり 7 時～200 人、10 時～200 人、1 日計 400 人です。

昨日食事を一緒にした子と一緒に登ることにしたのだけれど(これが後とても励みになる)、
その子の仕入れた情報では 5 時半が始発バスだけれども 4 時半には並び始めた方がいいよ
と・・・

暗闇の中、4 時半バス停に行った時点で既に列が！

オスタル 5 時からの朝食にて食べられず、前夜に買ったバナナとパンを並びながら食べる。
白々と明るくなる中バスの出発を待つ。2 台目に何とか乗れ、ワイナピチュへの入山も 123
番をもらえる。早起きした甲斐があります。

昨日とはまた違うマチュピチュ。

霧がたちこめるなかの遺跡。

神秘的です。

が、言葉にするとなんて陳腐なのだろう・・・

7 時 40 分ワイナピチュ入山。途中までは話をしながら写真もとりながら快調。

が、登りがきつく息も苦しくなり休みがち無口になる・・・

マチュピチュが眼下に見えてくる。

すごくがんばり(なにせへたれですから)頂上に到着。

雲が近いこと！たまりません！！

しばし岩に寝転がり感動を味わう。この感動は登った人でないと分からない。

登ってきたつらさをすっかり忘れてのんびり過ごす。(この後、大変なことが待っていると
は知らず・・・)

10/20 ワイナピチュ登山

くだりはラクチ〜ン、と一路下山。

登山口へ戻る途中、月の神殿(テンプル・デ・ルナ)への別れ道がある。ワイナピチュの裏手にあるという神殿です。

せっかく来たのだから行こうよ、となったのだけど・・

歩けども歩けどもたどり着かない。ガイドブックに40分と書いてあったのに。

途中すれ違う人たち3組位。(それ位、来る人が少ない・・)会う度に後どれくらい?と聞きながら歩く。ダウンアップダウンが続く。

40分を経過してまだたどり着かない。もう少し歩いて着かなかったら戻ろうよと言った矢先、やっとやっと神殿にたどり着く。

よかった。ガイドは確かに正確だった。でも、高低差は書かれていないのよね。平坦な40分とアップダウンのある40分の違いったら・・しかも最後のダウンはかなりしんどかったのね。

ということは・・ 戻りはかなりきついアップなのね。泣きそう。本当に泣きそうだった。

何かのバツゲームって位にしんどかった。足が上がらないし、本当にしんどかった。

このつらさはきっと相方にしかわからない。

しかも、相方の水がなくなりふたりで水をシェアすることに。水は大事です。はい。

誰か引っ張り上げて〜と子どもようになっていたら、別れ道に戻ってきたではないですか!ワイナピチュの頂上にたどり着いた時とは全く違う感動!!嬉しい!

登山口まではラクチンラクチン。12時40分無事に戻って参りました。いくら寄り道をしたといえ5時間もいたことにはびっくりです。

祝杯を挙げるべきマチュピチュ入り口のカフェに!

セルベッサ16ソーレス(480円・高い) さすが世界遺産!が、代えられません。

マンゴー2個で5ソーレス(150円・安い)をつまみに乾杯です。美味しかった

その後クスコに戻る相方と別れ、しばしマチュピチュを堪能。

オスタルへ戻り溶けるように眠りにつきました。

10/21 アグアスカリエンテス〜クスコへ

昨日の疲れを癒すために温泉に。

アグアスカリエンテスには温泉があります。(アグアスカリエンテスとはスペイン語で温泉の意味だそう)

夕方の移動までは時間があるからのんびりです。温泉といっても水着で入るのだけれども。

朝からのんびり浸かりました。ぬるめがあったり、適温があったりさまざまなタイプあり。

打たせ湯までありました。しばし感動。

アルゼンティーナのかわいらしい親子と会話を楽しむ。ソフィアちゃん5歳、かわいかったわ〜

ボリビア人エンジニアのミルトンとなぜか、温泉後一緒に過ごす。ミルトンは英語が話せ

ず、スペイン語とフランス語。私はスペイン語が話せず片言の英語。共通の言語がなくかなり必死。

が、ご飯を食べたりと何とかなるものです。ランチ、自分が食べたものを支払いしたら、なんでだい？と。ご馳走しようとしてくれていたらしい。でも、ご馳走されるいわれはないし・・・

夕方、マチュピチュ後にクスコヘビスタドームで移動です。(ミルトンの駅までの見送りを受けて・・・笑)

偶然、日本人観光客と相席となりしばし日本語会話を楽しむ。夕食一緒にするお約束を。(さすがマチュピチュ、日本人に一番遭遇しました)

帰りのビスタドームも軽食付き。更にアルパカ商品を着てのファッションショーがありかなり営業努力をしています。欧米人のご年配の方達はきっと(もしかしたら日本人も?) その後の車内販売で買ってしまうのでしょうかね～

クスコ手前ポロイ駅で下車。クスコまで車で移動。

夜のクスコの明かりにビックリです。オレンジ色が光輝いてきれいです。あまりの街っぷりにビックリしました。

夕食。毎度のことセルベッサで乾杯。アホ(にんにく)スープにアンティークーチョ(串焼き)でお腹一杯です。一人でないのは沢山食べられて嬉しい。

3399m、高山病は全く大丈夫なようです。

10/22 クスコお散歩

お散歩がてら、知人の紹介のツアーを訪ねる。迷子にならずにたどり着けなかなかの方向感覚と我ながら感心。しばし会話を楽しみランチのお約束をしてまたお散歩へ。

古い町並みそのまま残っていてかわいらしいです。石畳の通りやインカ地代の石壁が残る通り。歩いているだけで楽しいです。しかしながら、観光客が一杯で(自分もそのひとりだけれど)すっかり観光地です。太陽の神殿・カテドラルだけを見学しあとはのんびりお散歩。

ランチ、リゾットを頂く。日本人の口に合い美味しい。

午後、テキスタイルの博物館を見学。実際に織物を織っていて織物好きにはたまらないと思います。しばし、見入る私。

そして販売もしていたのだけれどセール文字に思わず反応。アルパカ・ハンドメイドにて少々高めだけれど帽子を購入。買い物好きなのだけれど今回初めてのお買い物となりました。これに勢いついたか、その後も帽子をふたつも購入。

さらにこの後の行程もまだあるのに移動手段も考えずにリヤマのぬいぐるみまで購入。だって、とても気持ちよいしかわいいのだから。

10/23 クスコ～プーノへ

目的ふたつ目、ティティカカ湖・湖畔のプーノへの移動です。

ちなみにプーノはクスコより標高が高く 3855m です。

クスコ～プーノまで移動をしながら観光する観光バスがある。7時半出発の 17 時着と長旅。スペイン語と英語でガイドをしてくれます。途中、バロック様式の教会が残るアンダワイリーヤス、ラクチ遺跡、シクアニでのランチ、4335m のララヤ峠、プカラ遺跡を停車していきます。

標高 4000m 超えてもなんら問題なし。今夜もビールが飲めそうだわ～と微笑む私。

夕方、プーノに到着。お外は雨。今回ずっとお天気だったのについに崩れたわ・・・

まあ、チェックインするだけだし。あっ、ご飯を食べに行かなきゃじゃない・・・

お腹が空いては眠れないわ、ってなことでカップパを着込んで外に繰り出す。寒いわ。

町の雰囲気もまた違ってきます。

プーノはティティカカ湖半ということもありトゥルチャ(ます)が名物です。ビールにツーリストメニューで安くスープ・トゥルチャ・デザートを頂きます。かなり満腹。苦しい。

腹ごなしに明日からの防寒対策を兼ね、手袋を買いに行く。値段はあっていないようなもの。値段を聞いては次のお店に。たいていこういうのって最初に行ったお店に戻るようになるのよね。240 円にて寒さは凌げる手袋を購入。明日に備えて帰ります。

10/24 ティティカカ湖 1 泊ツアー

ティティカカ湖はペルーとボリビアにまたがってあります。ペルー側の島、ウロス・アマンタニ・タキーレを巡るツアーに参加です。宿泊はアマンタニ島でホームステイ。楽しみ～

20 名位ボートに乗り合わせ 8 時半には棧橋を後に。トトラで出来たウロス島まで 30 分強。ブラジル人のケンジと相方がとても面白い。なぜかブラジルのフラッグ持ち歩いている。それにも増して空が広くて蒼くて雲がとてもキレイ。ウロスの子も達も鼻垂れているのだけれどとてもカワイイ。社会科見学よろしく、スペイン語と英語で島の案内をしてくれるガイドさん。

そして、ウロスを後にアマンタニ島まで 3 時間近いボートの旅。途中ボートの上に上がり、空の広さを味わう。スイス人のクーノが少しだけ日本語が話せてお話をする。とてもよい人。

アマンタニ島に到着。ホストファミリーに皆連れられ各家庭に。2.3 人で参加グループはみんな一緒。今回ひとり参加はクーノとアメリカ人のルーシーと私。3 人一緒にステイすることに。私達のホストはマリにパパ・ママ・弟のファミリーです。ランチが用意できるまでしばしのんびり。スープとおいも・トマト・キュウリの盛り合わせを頂き満腹に。ごちそう様でした。

10/24 ティティカカ湖ツアー

夕方、島の頂上に夕日を見にみんなで軽くハイキング。クーノと話しながらハイキング。英語・スペイン語・仏語・独語と4ヶ国語話せるそうで天晴れです。それに私のつたない英語にも付き合ってくれてありがたいですね。途中、グラウンドがあり地元VSツールのサッカーゲームが始まる。なぜか女性チームもあり参戦。衣装を来た地元女性達がボールを追いかけるのはおかしなものです。

アマンタニに着いたときにはお天気だったのに、登り始めたら雲行き怪しく・・・

残念ながら夕日は見られず・・・それでも、空気が気持ちよく空が広いことには変りない。

夕日を見られずにお家に戻る。

お夕飯の支度ができており、食事を頂く。メニューはスープに、ご飯にパスタと思われる付け合せ。比較的何でも食べられる私だけけれど、パスタもどきはちょっとダメでした・・・

食後、民族衣装に着替えてダンスパーティーに参加です。コスプレ楽しい。かわいいの～男の子はポンチョを被っての参加です。暗闇のなか集会所もどきまで歩いて行きます。

マリ、ルーシー、私、クーノの順番。なんだか歩く時はいつもこの順番。通学班みたい。

音楽にあわせて、ひたすら踊る踊る。2時間近く踊り続ける。意外とみんな元気ね。

そしてブラジル人カップルとスペイン人カップルのダンスが上手なの～ やっぱりお国柄かしらね～

10/25 ティティカカ湖1泊ツアー

6時40分、目が覚める。朝、気持ちがいい。湖まで行くには戻る道が迷いそうなので近所を散歩に留める。パパ・ママ朝から畑仕事に励んでいます。パンケーキの朝ご飯を頂き、アマンタニ島を後にします。ホストのマリはスペイン語が話せたのでクーノが間に入って通訳してくれたので色々助かりました。

タキーレ島まで1時間近く(だったような・・・)ボートで移動。そして島の頂上までハイキングです。タキーレ島は男女それぞれがお互いに編物をします。編物王子よろしく、おじいちゃん達も歩きながらも編んでいます。すごくキレイな色を編みます。欲しいけどいつ使うのだ?!と冷静な自分も最近はいたりします。

頂上付近広場でしばし解散。編物ショップを覗いていたら、声をかけられる。何々新手的ナンパ?と思いきや、アグアスカリエンテスであったアルゼンティーナご夫婦!ソフィアちゃんは疲れてお休み中で会えなかったけど・・・今後の予定を確認したら明日の移動も一緒だった。しばし再開を楽しみ別れる。

ランチ、トゥルチャを頂く。更にガイドの音楽まであり楽しいです。最後のしめは「ラバンバ」なぜか皆で大合唱。知らない子達がいなくて良かったわ～

絶壁の階段を降り、タキーレ後に一路プーノに戻ります。すごくよいお天気でボートの上で皆思い思いに過ごす。裸足になって寝転んだり、思わすヨガをしてみたり。ルーシーやイタリアのナイスガイは夏のバカンスよろしく日焼けしています。似合うのね～

10/25 ティティカカ湖 1泊ツアー

夕方プーノの棧橋に到着。それぞれの行き先別の車に分乗。最後までブラジル人達はファニーでした。私はいつの間にか「ナカタ」になっていたし。(サッカー文化が盛んです)いつも絡んでくれて楽しかった。クーノはエージェントで降ろしてくれと次の旅の相談に行っていました。ステキだわ~ ホットシャワーと洗濯が必要ねと確認してから、プーノ泊するルーシーと夕食をする約束をして別れる。

一日ぶりのホットシャワー気持ちが良いです。そしてたまった洗濯をする。部屋の中はすごいことになっています。

ルーシーと待ち合わせ。さて何を食べる？魚は飽きたし・・・やたらピザ屋が多いのです。まあ、無難といったら無難。客入りのよいお店に入り、ピザとビールを頼む。そしてふと顔を挙げたら・・・ソフィアファミリーがいるではないですか！！いくら小さい街でもここまで一緒になるとは笑えます。明日の移動は既に一緒なのだけど、どこに泊まるんだ？って聞かれてオスタルの名前を言ったら、パパ笑い出す。オスタルまで一緒でした。いやいや面白いです。

明日はペルーとお別れ国境越えしてボリビアに入ります。また出発が早いので露天をひやかしながら解散。つたない英語なのに一緒に過ごしてくれたルーシー。とてもありがとう。

10/26 プーノ~ラパス 国境越え

6時半ピックアップ 早い・・・

が、それよりも早くけっこうみんな出発しています。元気よね~
そして私ついに本日へこたれました。

ティティカカ湖畔をドライブしながら国境の町ユングーヨまで行きます。バスを降りてペルー側で出国手続き。歩いてボーダー越えてボリビアでの入国手続き。バスはボリビア側で待っていてくれます。そして私としたことがカメラをバスの中に置いてきてしまい記念すべきボーダーの写真を取り損ねます。ああ・・・

またバスに乗り込みコパカバーナでカテドラルを見学。蒼い空に白いカテドラルがとてもきれいです。そしてなんとなく頭が痛いような・・・気にしない気にしない。ツアー一緒のLA親子。パパが「高山病は大丈夫か？俺はクスコとマチュピチュでやられたんだ」なんて話を。そして今もまた具合悪そう。なんだか自分も本当に具合悪くなりそう・・・

ボリビア側のティティカカ湖の島、太陽の島を訪れるためカタマランに乗る。軽食のサンドを頂き気を紛らわす。太陽の島、ぜひ泊まって朝日をみたらいいよと経験者から勧められていたけど今回は日帰り。島に行くたびに石段を登り高みからティティカカ湖を眺めます。何度見てもきれい。ここから朝日を拝みたいと思いました。次回の宿題です。そんなことを思っているけど本格的に頭痛。なぜに今更？よく分からない・・・

もう起きているのがつらいくらい。この後、ボートに戻ってランチ(これはしっかり食べた気が)、ボリビアに上陸。車に乗り換え一路ラパスなんだけれど、起きていられず・・・気付

いたらラパスの街中、景色を楽しむことなく死ぬ思いでオスタルにチェックイン。そしてそのまま眠りにつきます。

10/27 ラパス散歩～ウユニへ

夜中に目が覚め、お腹が空いてバナナを食べる。大部回復。

朝ご飯も調子にのって沢山食べる。反省・・・

今日は最終目的でもあるウユニ塩湖への移動日。夜行バスで移動だから昼間はのんびり。

ご近所散歩。お買い物が楽しそう。帽子・グローブ・マフラーの3点セットを見つけて100ボリビアーノ(1200円位)もう少し値切れないかしら？と諦め帰る。ウユニから帰ったらお買い物をしよう。

午後にロンドンバスのような2階建てバスのシティーツアーに乗る。これすごく便利で、日本語のイヤホンガイド付き。他にも6ヶ国語のガイドがあり余計な説明がなくてよいです。市内と、月の谷がある郊外の方へ回る2ルートある。安いものだから続けて見て回る。それにしても暑い。でも高いところが好きだから2階で過ごす。

バスの時間まで紹介してもらった現地の子と食事をして過ごす。ボリビア料理が食べたいと私のリクエストで食べるのだけれど、とても量が多い。さすがの私も残す・・・

21時出発の夜行に乗るためバスターミナルへ。今回は\$33もする(現地ではとてもエクスペンシブ!)比較的快適といわれているツーリスト向けのバス会社 Todo Turismo に乗ります。

ウユニに行くにあたり、寒いよ、揺れるよ、つらいよ、と散々に言われていた私・・・果たしてどんなもの??

ほぼ横に倒れるリクライニング。夕食にお水・ホットドリンクのサービス。(夕食食べた後だけどしかり食べる私) そうそうブランケットに枕も貸してくれます。快適じゃないの! ラパスからウユニ途中のオルーロまでは舗装道路にて快適と言われています。その後のウユニまでの道が未舗装にてひどいって・・・

が、朝ウユニに到着するまでほとんど起きることなく寝ていた私。どこでも眠れるのですね～

ウユニに到着前にはオレオとオレンジジュースの軽食付きです。さすが\$33!!

10/28 ウユニツアー

7時、思いの他快適な夜行バスでウユニに到着。

日本人、すかさず客引きにあいついていく。2泊3日\$80。電卓はじいて納得支払い。

\$900(!)の日本語完全プライベートツアーがあると聞いていたけれど\$80で十分です。

10時半出発まで朝食兼ねて町をフラフラ。小さな町です。バスで隣だった女性に再会、食事をしながら時間をつぶします。チョコバナナパンケーキ、思っていたものよりすごいものが出てきてビックリです。さすがに残す。

10時半、ランクルに6人乗せてツアースタートです。今回のメンバー、またまたブラジル人のムリロとリリー。オージーのかわいい女の子、キム・アレックス・リーズの3人。ブラジル人はここでもフラッグ持っていました。お国柄？

ドライバー兼ガイドのボリビア人にこれからご飯の支度を全てしてくれるママ。ガイドは全てスペイン語。この先、スペイン語の分からない日本人・オージー。ポルトガル語が母国語のブラジル人のツアー、どうなることやら・・・

10/28 ウユニツアー

ウユニ塩湖に行く途中、列車の墓場と呼ばれ使われなくなった列車が並べられている所を通過。とりあえず列車に登ってみる私。何せ高い所が好き。アハ・・・
そしてランクル、道なき道を走ります。(モロッコの砂漠を思い出す)

そして、土色だった視界がいつしか真っ白に！

塩湖です！！

来ました！！

真っ白！ステキ！！そして空は蒼！！コントラストがたまりません。

欧米人を真似てジャンプで記念撮影。欧米人はなんであんなにジャンプするのだろう？？と素朴な疑問です・・・

あまりにみんなはしゃぎすぎて、次行くよ～車乗って～と催促される始末。

イスラ・デ・ペスカ(魚の島)という塩湖の中にある島に次は移動。これまた不思議、サボテンが塩湖の中にたくさん生えているのですね。自然って不思議です。

イスラ・デ・ペスカで遅めのランチを頂き、塩のホテルもどきに到着。夕食まで夕陽を見ながら一休み。何も無いところで見ると夕陽はステキです。グラデーションがたまりません。

そして夕食。今夜はスープにパスタにバナナのデザート。食後なぜかリリーがウォッカを片手にやってくる。どこで買ってきたのだろう？もってきたからもちろん頂くわ。

この歳にして水シャワーを浴びる・・・だって明日はシャワーがないのだもの。今日浴びなかったらいつ浴びられるんだろう？？すごい息が止まりそう。リリーがウォッカを沢山飲んで行きなよって言ってくれた。確かに暖まるかも～

10/29 ウユニツアー

6時に目が覚める。7時朝食まで時間があるからお外をお散歩。

空気が澄んでいて気持ちがいいです。朝日を浴びながら思わずヨガする。

今日はラグーナ巡り。ラグーナ・コロラダまでドライブ。途中小さなラグーナや奇怪な岩がある箇所を巡りながら

大地が広い

空が広い
雲がキレイ

自然を満喫です

いつも思うけれど、自然を前にしたら人間ってなんてちっぽけなんだろうって。

夕方、ラグーナ・コロラダに到着。途中のラグーナもそうだけれどピンクフラミンゴがたくさんいて、ラグーナがピンクに染まってきれいです。
食事前、湖畔をみんなでお散歩。風が強くて飛ばされそうです。

食後、明日は今回 2 度目の 4 時起き 4 時半出発にて早々に布団に入ります。リリーのウォッカはもちろん頂いて。

明朝、今回が一番の寒さと予想。ウユニに行く前もラパスでムチョフリオ(とっても寒いの意味)と言われ、ウユニでツアーに参加する時にもスリーピングバックは持っている？と聞かれ、日本を出るときには冬空に野宿すると思いなと脅され・・・

ヒートテック上下にパンツにフリース。更にゴアテックスのレインウェア上下も着込む。更に耳当て付きの帽子まで被ってお布団に入る。そうそう、冬用厚手の靴下も履いています。リリーやムリ口になんか寒いのかと、笑われる。ええ、あなた達と違って体感が違うんですから！

果たして結果は・・・

10/30 ウユニツアー

4 時起床 が、誰も起きられず・・・ドライバー兼ガイドにバモース(レッツゴー！の意味ね)と起こされる。

ダメな私たち・・・

ポーとしたまま出発の用意。私は着たままにて意外と早く支度済む。

荷物を持って外に出る。真っ暗。寒い。でも思いのほか平気。

空を見上げる

ビックリ

星が直ぐそこ

手が届きそうな位近くに

しかもたくさん

いつも雲も手が届きそうなくらい近くにいるけど

星のキラキラも素晴らしい

言葉にすると、ほんとに陳腐・・・

して、4時半出発予定がお寝坊さんだから遅れて出発。

暗闇の中、朝日が昇るのを感じながらランクル動きます。

ホットスプリングを目指して、途中日光の修学旅行を思い起こさせる

硫黄の匂いをかきながら・・・

ポコポコ、日光を思い出しながら朝日を拝みます。

ちなみに欧米人は体感が違うため以外と薄着。私はゴアテックスの上に更にショールを巻いて完全防備です。

10/30 ウユニツアー

寒い身体を温めるべき温泉に到着！

が着の身着のままだった私は水着を着ておらず・・・オージー3人はしっかり水着を着用。身体を震えさせながら温泉に入っていきます。まさに冬に露天に入るあの寒さです。着替える勇気もなく(なにせへたれですから・・・)でも日本人が温泉に入れないなんて！と足浴だけは何とかする私。

気持ちよい～、やっぱり温泉よね～、日本人よね～、と物思いにふける。

そしてやっと朝食。暖かいお茶が美味しいこと。

おなかも満たされ身体も温まりよい気持ちで、チリとの国境近くのラゲーナ・ベルデに向かいます。

ラゲーナ・ベルデ、緑色の湖面に後ろの山が鏡のように映ります。しばしばーっとします。

こんな景色があるのね～

ラゲーナ・ベルデを後にラゲーナ・コロラドに戻ります。

リヤマ達をみながらランチ。

毎回ご飯の支度をしてくれたママに感謝です。

朝が早いものだからなんだか一日終わった感じ。

でもまだ、ウユニに戻らないと行けないのね～

途中ウトウトしながら一路ウユニへ。

リリーが急に「He lost」なんて言い出した。

思わず目が覚める。言われて見れば道を探しながら走っているような・・・

もともと道なき道を走っているのだけれど・・・

そんなことあるのだろうか・・・

川を何度渡ったことだろう・・・

このまま帰れなかったらどうしよう・・・なんて一抹の不安が。

と思っていたら小さな町にたどり着き、ウユニまで後少しだよ～って。
一安心。

予定通り 18 時にウユニの町に到着しました。

4 時半スタートの長距離ドライブ終了。

ウユニツアーも無事に終了しました。

この後夜行バスが待っています。

10/31 ラパス着

昨夜 20 時にウユニを出発。

7 時にはラパス到着。予定通りで素晴らしい！

もちろん、夕食・お水・お茶・軽食付き。暖房ガンガンで、暑いくらいに快適。

ツアーで一緒だったリリーとムリロも偶然同じバスで、ここでお別れ。

最後まで熱いふたりでした。

そして私、ここでナンパされます。ウフフ

しかも一言しかお話ししていないポリビア人に。

「今夜よかったらダンスに行こう、プリーズ コール ミー」ってメモを頂く。

今時こんな大胆なナンパするんだ～とある意味感心。

友達が一緒だったら行ったのにな～と少し残念に思いながらオスタルに戻ります。

早すぎるからチェックインできずに朝ご飯を食べて待つ。

9 時過ぎにはお部屋に入れてくれてありがとう。

ウユニに行く前ここでホットシャワーを浴びて以来のホットシャワーです。

気持ちが良い！！何日ぶりに浴びたのだろう・・・あまり考えない。

そして貯まっている洗濯をまたする。これまた気持ちがよい。お部屋の中洗濯だらけです。

スタッフ・マリと再会。ウユニはムチョフリオだったでしょ～？！とやはり寒さを強調される。

そんなこんなでのまたまたお腹がすく。

この期に及んで日本食を食べに行く。

旅行中に日本食～！と思うのだけれどやはり美味しいです。

みそラーメンを食しました。おしぼりまでついてきて日本の様。

プラプラお散歩して(お散歩好きです)のんびり過ごします。

11/1 ラパス散歩

予定がないから朝寝坊。

ゆっくり朝食して、歩いていないエリアを歩き出す。

日曜だったようで町の中心ムリリョ広場でイベントやっています。

ブラバンにあわせてダンスあり、しばし鑑賞。楽しませてもらいました。
無料であるはずの民族博物館へ行くけど、入り口閉まっている。ガーン、お休み?!
そのまま歩き、植民地時代の面影残るハエン通りを歩きます。
ここだけ、タイムスリップしたみたいな町並み。
鮮やかな色の壁に石畳、かわいらしいです。

入るつもりがなかった、この通りにある楽器博物館。民族楽器(サンポーニャやチャランゴとか)のほか、世界の楽器も展示してあって(日本の琴や YAMAHA のシンセサイザーとか)なかなか充実しています。それに日本だったら絶対に触っちゃいけません! だけれど思い切り楽器を弾いたり、叩いたり遊べます。かなり楽しませてもらいました。

ブラブラとメルカド(市場)などへ散歩を続けるけれど、なにか物足りない。
大自然を目の当たりにしてしまうと、人工の建造物もステキなのだけれどなんだか違う気がしてしまう・・・

11/2 ラパス～リマへ

午後にはリマへ移動。ボリビアも今日が最後です。
メルカドや近くの通りをブラブラ。

空港までのひと時、スタッフ・マリとお話し。
荷物を運んでくれるかわいい男の子が今日はいない・・・
いつもタクシー呼んで荷物を運んでくれたのに、残念・・・

一路リマに向けて出発です。
ラパスの空港、イミグレ通過簡単!
リマの空港、こちらも今回は早い!(初日到着時は到着便が集中していてすごく時間かかったの)

荷物をピックアップ。
あれ、何かおかしい?
留めたはずの留めがねがなぜ外れている?
でも何だか分からず・・・

初日に知り合ったタクシードライバー・ホセさんにお迎えお願いしていたので、オスタルまでは安心して移動。
サービスしてくれて夜景がキレイな所を回ってオスタルまで連れて行ってくれました。
しかも写真まで撮ってくれる。サービス満点。嬉しいわ～

なんて思っていたら!!

11/2 リマにて

オスタルにチェックインして、夕飯ビールを飲みに行こう! と荷物を解きに手をかける

と・・

あれれ。ファスナーがずれていない??

飛行機ってこんなに揺れるもの~とおバカなことを考える。

ドキドキしながら鍵を外してファスナー開けると・・

出ているはずのないポーチに入れていた小銭入れがなぜ出ているの?!

一瞬目を疑う!

慌ててお財布の中を確かめる。

入っているはずの\$がなくてよ!

何気にキレイにパッキングする私。

ポーチは5個くらい並んでいたのに、なぜよりによってそこが分かるのかしら?!

いやいや、怒りを超えて感心してしまいました。

さすがプロですね~

ラパスでもともと機内持ち込みにする荷物だったからお金も入れっぱなし。

それが大きいから持込ダメよ~と言われてそのままそこで預けることに。

その時にはお金が入っていることすっかり忘れていたのね~

しょうがないわ~

\$だけで済んだのだからよかったわ~

氣を取り直して、ビールとチキンの丸焼きで乾杯!

11/3 リマ最終日

最終日です。

深夜発のフライトにて丸一日過ごせます。

午後にムセオ天野の見学を予約する。

午前中はセントロをさくっとタクシーで見て回る。ホセさんに今日もお願い。

降りる? 写真撮らなくていい? ととても親切。

しかし、建造物を見ることに感動しなくなっている私・NONO と車窓でほとんど済みます。

午後、ムセオ行く前に待ち合わせをしているのでそれまでにランチを済ます。

ホセさん、ご親切に自分の帰り道だからとランチの場所まで送ってくれる。

最後は豪勢にラルコマル(ミラフローレスにある海が見えるおしゃれスポット)でビッフェにする。約束の時間があるのだけれど、ビッフェだからとデザートまでしっかりと頂く。

お陰で待ち合わせにすっかり遅刻。とても心配されていて搜索願が出される所でした。

ピスコサワーを飲みに行こう! と約束していたのだけれど私がデザートなんか悠長に食べていたから時間なくなる。残念・・

近くのインディマーケットで値切ってお買い物。そしてムセオに向かいます。

このムセオ、かなりお勧めです。チャンカイ文化をメインに研究をされていた天野氏の収集物が展示されています。実は行くまで詳細は全然知らなかったのだけれど、ボランティアで日本人スタッフがガイドしてくれます。ブレインカ・インカ地代のこと含めペルー文

化のことを説明してくれます。そして、また日本ではありえない、展示物がほんとに間近に見ることが出来ます。織物の収集が充実していて、日本でいえば平安時代頃に織られたものなどがとてもよい保存状態で残っています。それにデザインや色使いが今作ったのよと言ってもいい位ステキなのです。現代でも通用するものがその当時に作られて(創造されて)いたということは何ともすごいことです。文化レベルの高いこと！

思わず興奮。ぜひぜひリマに行かれることがあったらよってみてください。日本語ガイドがあっても無料です。

11/3 リマ発

すっかりムセオで長居をしてしまい夕方、夜のチェックインまで過ごさせてもらうデイコースのゲストハウスへ。

初日に行ったスーパーのご近所。荷物に余裕がある。ピスコを買いにスーパーへ繰り出す。

2週間以上も前のことにどれが美味しかったかすっかり忘れている。

なんだかんだ言って、またまた試飲を沢山する。

これと言う1本を決めるが、次の1本が決まらず・・・

無理して今回は買わず。代わりにクスケーニャ(クスコのビール)6本パックを購入！

これだけ買って\$20でおつりがくる。ステキ～

荷物を入れ直し、重量測る。それでも今回は15キロしない。軽いわ～

夕食、鍋焼きうどんに、お刺身、おしんこ、思い切り和食。美味しい

そして飲み損ねているピスコサワーをリクエスト。最初で最後のピスコサワーとなる。

これまた美味しい

調子にのっておかわりする。すっかりいい気分～

いい気分になって一緒に食卓を囲んでいる日本人のおじさんと話をする。(インカコーラは懐かしい味がするとか、くだらない話はしていたけど・・・)

私：それよりペルーはお仕事ですか？

おじさん：ええまあ、取材を兼ねて・・・

知人：これ書いている人よ、(と、書棚に並ぶ私の好きな本の著者さんの著書を指差す)

私：え～、読んでいますよ

知人：え～、そうなの～

酔いも手伝って、とても興奮。

ちゃんと感想を言っていたのだろうか・・・

著書は知っていてもお顔は知らなかった、私・・・大変失礼しました。

22時前、空港に行くべく皆に見送られ(作家さんにも)ゲストハウスを後にしました。

すごくいい気分～

今回現金は全て手荷物に、預け荷物も\$10出してプロテクト。

完璧にして、日本に出発しました。

11/5 成田着

LAトランジットを経て無事に到着

LAではりんごひとつ取られたけれど

荷物は無事、何も取られることなく(笑)着きました。

ラテンアメリカ、こんなに面白いとは！

色々な人達に出会い、助けられながらとても楽しかった！！

今回もよい旅でした。

ラテンアメリカ、奥が深いです。

また行きたいです。